

財務ハイライト

連結経営成績・財政状態 (百万円)	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期予想
売上収益	20,652	13,833	15,000
営業利益(△は損失)	3,395	△2,897	△2,700
親会社の所有者に帰属する当期利益(△は損失)	2,173	△2,431	△2,400
資産合計	34,476	33,535	
負債合計	8,632	9,873	
資本合計	26,114	23,662	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,783	1,606	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,788	△2,910	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108	1,237	

1株当たり配当金 (円)	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期予想
年間配当金	8.70	1.00	未定
中間配当金	4.00	0.00	未定
期末配当金	4.70	1.00	未定

▶ 決算コメント

2022年12月期は、クラウドソフトの提供を計画通り進めた結果、月額サブスクリプション型ビジネスモデルへの転換に向けた基盤が整いました。

2023年12月期は、クラウドソフトの販売を継続することに加え、2022年12月期に契約したクラウドソフトの売上が通年で売上計上されるため、クラウドソフトの増収が加速する予定です。

▶ 配当金について

2022年12月期は、期末配当金1.00円(年間配当金1.00円)としました。

2023年12月期は、中期経営計画の進捗と内部留保の状況に鑑み、合理的な算定が可能となった時点で予想を公表する予定です。

▶ 株主優待について

2021年12月期の株主優待(TOYOTA Wallet電子マネー)をもって、株主優待制度を廃止いたしました。株主優待のお受取り期限は2024年3月末日までとなりますので、それまでにお受け取りいただくようお願い申し上げます。

中期経営計画(2022-2028)の進捗

計画の概要

経営方針

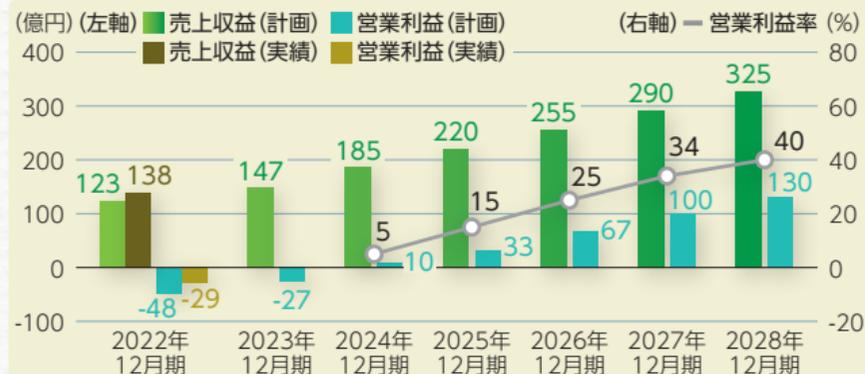
モビリティ産業のDX推進を通じて、オンリーワンのプラットフォームカンパニーに進化

基本戦略

2022年からの本格展開となる『.cシリーズ』を提供し、「クラウドの浸透」を図ると同時に、クラウドサービスの機能強化やメニュー多様化など、「サービスの拡張」を推進

連結業績計画

(計画値は2022年2月9日公表時点の数値)



2022年12月期の進捗

2022年12月期の主な取り組み

中核商材の『.cシリーズ』を本格提供開始・機能強化

- ・ローン連携機能を搭載
トヨタファイナンスの金融サービスをカーオーナーに提供できるように
- ・『LINE公式アカウント』連携機能を搭載
『LINE公式アカウント』を活用したマーケティング活動が可能に

中核商材以外にも新たなクラウドサービスを提供開始

- ・『電帳.DX』の提供開始
改正電子帳簿保存法に対応したクラウドサービス
- ・『Mobile OTRS[®]』の提供開始
作業分析ソフトウェア『OTRS[®]』のモバイル版

2022年12月期の実績

お客様数が大幅増加

- ・新しく提供開始したクラウドサービスが好評のため



総括:計画の進捗は順調

- ・売上収益138億円、営業損失29億円で着地し、計画を上回る。
- ・計画通り中期経営計画の基本戦略を進めたことで、月額サブスクリプション型ビジネスモデルへの転換に向けた基盤が整う。